



令和6年11月27日

福生市 定例記者会見資料

資料 3-2

～西多摩初！循環型社会・脱炭素社会実現へ～

福生市とサントリーグループが「ボトル to ボトル」 水平リサイクルに関する協定を締結します！

福生市とサントリーグループ（サントリー食品インターナショナル株式会社、サントリーホールディングス株式会社）は、市が収集した使用済みペットボトルを何度もペットボトルに再生させる「ボトル to ボトル」水平リサイクルに関する協定を締結し、令和7年度から事業を開始します。

■持続可能な循環型社会の実現に寄与

福生市ではこれまで、市で収集した使用済みペットボトルについては、リサイクル業者に売払いし、主にフリース（洋服）やカーペット、卵のパックなど、ペットボトルとは異なる物にリサイクルされ、それらの物は最終的に使い終わると再びほかの商品にリサイクルすることができず、燃やせるごみとして焼却処理せざるを得ない状況でした。

今回の事業協定により、令和7年度からは新たに「ボトル to ボトル」水平リサイクルに転換するため、市が収集した使用済みペットボトルを何度もペットボトルに再生し、資源循環させることができます。

また、石油由来の原料でペットボトルを製造するよりもCO₂が約60%削減することでき、脱炭素社会と持続可能な循環型社会の実現に寄与することができるものです。

■協定締結式概要

【日時】12月9日（月）午後1時30分～2時

【場所】市役所第1棟4階庁議室

【出席者】加藤市長

サントリーホールディングス株式会社

サステナビリティ経営推進本部 副本部長 きたむらのぶやす 北村暢康氏

【問合せ】ごみ減量対策課リサイクルセンター係 TEL042-551-9150